

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会  
第10回 HWC標準作業会 議事録

1. 日 時 : 平成22年12月2日(木) 14:00~16:00
2. 場 所 : 日本原子力発電(株) 本店 2階 第4会議室
3. 出席者 : (敬称略)  
(委員) 内田、高木、和田、小野、實重(小藪代理)、寺門、久宗  
(常時参加者) 山本、塙、上山
4. 配布資料 :
  - 10-0 第10回 HWC標準作業会 議事次第
  - 10-1 第9回 HWC標準作業会 議事録(案)
  - 10-2-1 水素注入(HWC)標準の作成について(案)
  - 10-2-2 HWC標準骨子
  - 10-3 HWC作業会資料
5. 議事概要 :
  - (1) 出席者の確認  
出席者の確認を行い、委員8名中6名(1名代理)出席しており、必要  
な定足数を満足していることを確認した。  
(開催後、小野委員が遅れて出席し、最終的には7名出席)
  - (2) 前回議事録確認  
久宗幹事より、資料10-1「第9回 HWC標準作業会 議事録(案)」  
の説明があり原案どおり承認された。
  - (3) HWC標準の作成について  
現在、システム安全合同タスクグループにおいて、水化学に係る標準の  
体系を検討しており、HWC標準を水化学管理指針の一部とした場合、タ  
スクグループでの検討が終了し、標準の体系が承認されるまでHWC標準  
は制定出来なくなる可能性がある。  
一方、JSME-JANTIで検討しているHWC-GLでは、維持規  
格のHWCき裂進展線図を適用するためのルール作りを急いでおり、その  
インターフェイスとなるHWC標準は早急に作成する必要がある。  
このため、HWC標準を水化学管理分科会に提案するには、水化学管理  
標準との関連ではなく、「HWC適用時の環境緩和効果の評価手法」を目的  
として標準化することとした。  
次回の水化学管理分科会では、HWC標準の骨子、ラジオリシス/EC  
Pモデルの概要およびモデルと実測値の比較を説明することとした。  
また、水化学管理分科会への説明から中間報告までのエンジニアリング  
スケジュールを作成することとした。(久宗幹事)
  - (4) その他  
次回(第10回HWC標準作業会)は、1月20日(木)14:00~  
17:00に原電本店2階の第1会議室で開催することとした。

以上